

## 標準施工要領書

< セメント系下地調整塗材 JIS A 6916 CM-2 認証製品 >

# ハイモル<sup>®</sup>マックス#30

昭和電工建材株式会社

建設資材営業部

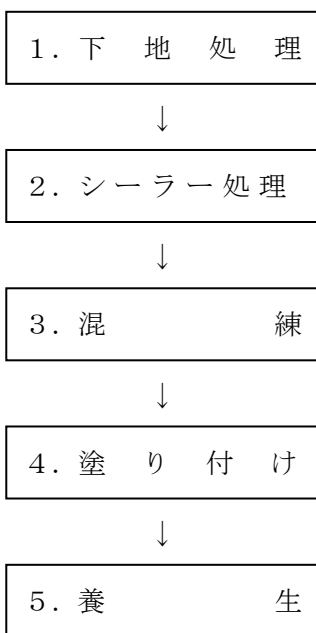
〒221-8517  
神奈川県横浜市神奈川区恵比須町8番地  
TEL 045(444)1691 FAX 045(444)1699

1. 用途 内・外壁、内・外床、天端、天井、内・外壁タイル下地、  
全面厚塗り下地調整等  
PC躯体、PC板などの内外補修等  
〔標準塗厚：0～15mm〕  
〔\*JIS A6916-2014 解説には下地調整塗材 CM-2 の塗膜厚は、3～10mm  
程度と記載されています。〕

## 2. 使用材料

材料名	荷姿	性状・その他
ハイモルマックス#30	25kg/紙袋	アクリル粉末樹脂(カチオン)入り 完全プレミックスモルタル

## 3. 施工順序



## 4. 施工手順

## (1) 下地処理

下地のレイタンス、脆弱層、脂分、汚れ等をワイヤブラシ、サンダー掛け等で除去し、水洗い清掃を行ってください。

- ※ パネコート型枠を使用した躯体の場合、必ずワイヤブラシ又はサンダー掛け等を行ってください。
- ※ タイル下地の場合は、必ず高压洗浄（吐出圧力 50MPa 以上）を行ってください。
- ※ 下地が高強度コンクリートの場合は、必ず超高压洗浄（吐出圧力 150MPa 以上）を行ってください。
- ※ 浮き、剥落の原因となりますので、下地の清掃は入念に行ってください。

## (2) シーラー処理（吸水調整材塗布）

塗り付け箇所は下地の乾燥後、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョンの 5 倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。

- ※ ドライアウトの原因となりますので、下地への急激な吸水を調整するために希釈倍率を厳守し、むらなく丁寧に塗布してください。
- ※ 夏場等、吸水が著しく激しい場合には塗布回数を増やしてください。

## (3) 混練

	配合	重量比	標準練り上がり量
ハイモルマックス#30	25kg/袋	100	約 20L / 袋
清水	約 6.5L	26	

ハイモルマックス#30は、アクリル粉末樹脂（カチオン）が既調合された、完全一材型の製品です。

所定量の清水（約 6.5L）を容器に入れ、次にハンドミキサー等で攪拌しながらハイモルマックス#30（1袋）を徐々に加え、十分に練り混ぜてください（約 3分）。

- ※ 練り混ぜ後、60分以内にお使いください。
- ※ 粉体を追加する練り足し、水を加えての練り戻しは避けてください。

## (4) 塗り付け

吸水調整材を塗布した下地表面が乾燥後に、下地に対し鍔圧を十分にかけて厚さ2～3mm程度でガリッと擦り込むように塗り付けた後、所定の厚さに塗り付けてください。

1日の塗厚は10mm以下とし、それ以上となる場合は、下塗り面に目粗し（ホウキメ）を行い2日以上養生期間をとり、塗り重ねてください。

塗り重ねる際は、吸水調整材として必ずハイモルエマルジョンの5倍希釈液を塗布した後、下塗り同様2～3mm程度でガリッと下こすりを実施後、所定の厚さに塗り付けてください。

次に水引き具合を見計らい、仕上げ材の種類によって金鍔押さえ、木鍔押さえ等の仕上げをおこなってください。

※ 浮きや割れの原因となりますのでガリッと2～3mm擦り込んでから所定厚に塗り付けてください。

※ 1日の塗厚は、「10mm以下」を厳守してください。

※ 塗厚が10mmをこえる場合は、2回以上に分けて塗り付けてください。その際の工程間隔は2日以上としてください。

※ 「JASS 15 左官工事」の標準仕様に従って施工してください。

※ タイル下地として使用する場合は、必ず3mm以上の塗厚で施工してください。

## (5) 養生

仕上げ材施工までの養生期間は、9日（冬季14日）以上としてください。

また、通風や日射による早期乾燥を防止するため、必要に応じてシート養生、散水養生をおこなってください。養生期間内に降雨降雪等が考えられる場合には、適切なシート養生を行ってください。なお、仕上げ材によっては、下地の含水状況により、膨れ、剥離等不具合が発生する場合がありますので、必要な場合は、含水状態の確認を行い仕上げ材の施工を行ってください。

※ 養生期間の考え方；養生温度の平均が20℃で養生期間が9日必要であれば、養生温度の平均が10℃の場合、同じ硬化状態にするためには、養生期間はおよそ14日必要となります。

<施工上の注意>

- 気温が5℃以下の時は施工を中止するか、適切な保温、採暖を行ってください。
- 施工中及び施工後、硬化前に降雨、降雪の恐れのある場合は、施工を中止してください。やむを得ず施工する場合は、適切な養生（シート養生等）を行い、直接雨や雪がかからないようにしてください。強度不足や白華（エフロ）の原因となります。
- 現場にて、砂、セメント等を追加混入することは絶対に行わないでください。
- セメント製品に特有の現象である白華（エフロ）が発生することがありますが、品質には異常ありません。

※標準仕様以外での施工による不具合につきましては、  
弊社では責任を負いかねますのでご注意ください。

## 5. 注意事項

## &lt;使用上の注意&gt;

- 取扱い時は、必ず保護具（保護手袋・保護眼鏡・マスク等）を着用してください。
- 取扱いは、換気の良い場所にて行ってください。
- 取扱い後は、うがい及び手洗いを充分に行ってください。
- 取扱い後の器具類は、早めに水洗いしてください。

## &lt;応急処置&gt;

目に入った場合	直ちに多量の水で15分以上洗眼し、医師の診断を受けてください。
皮膚に付着した場合	直ちに水で良く洗い流し、必要に応じて医師の診断を受けてください。
誤飲した場合	大量の水を飲ませ吐かせた後、直ちに医師の診断を受けてください。

## &lt;保管上の注意&gt;

- 雨、露のかからない湿気の少ないところに保管し、直射日光を避け地面に直接放置しないでください。
- 購入された材料は、製造日から4ヶ月以内に使用しきってください。

## &lt;運送上の注意&gt;

- 袋の損傷による内容物の漏れが無い事を確認してください。
- 転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れの防止を確実に行ってください。積み下ろしも同様に願います。また、湿気、水漏れに注意してください。

## &lt;廃棄上の注意&gt;

- 都道府県条例に基づき処理するか、許可を受けた産業廃棄物処理業者に処理を委託してください。

## &lt;漏出時の注意&gt;

- 飛散した粉は掃除機で吸い取るか、スコップ、ほうき等で集め、袋などに回収してください。
- 排水は中和、希釈処理などを行うと共に、河川等に直接流出しないように対策をとってください。

詳しくは「安全データシート(SDS)」をご参照ください。

以上

202003